

第 11 回 日本健康福祉政策学会岡山大会

第 1 回 実行委員会準備資料一括

9 月 8 日実行委員会準備

- 1 実行委員の確定（本人了解）
- 2 案内状の発送。
- 3 参加人数の確認 9 月 6 日まで
- 4 資料の作成 9 月 7 日まで

資料

- 1 日本健康福祉政策学会の趣旨
- 2 全国役員、支部役員
- 3 第 10 回東京大会
- 4 第 11 回岡山大会
 - 1) 岡山大会の特色
 - 2) 実行委員名簿
 - 3) 役員名簿
 - 4) 大会準備
 - 主管、共催
 - 大会日程
 - 場所
 - 理念
 - テーマ
 - その他
- 5) 大会内容

1 日本健康福祉政策学会の趣旨

■学会の趣旨

地方分権や健康福祉システムの改革にともなって、国・都道府県・市町村の新たな関係が模索されています。一方、地域では、保健・福祉・医療・教育の連携などの取り組みが、多くの問題を抱えながら進められています。

諸外国でも、ヘルスプロモーションやヘルシーシティの活動に代表されるように、公衆衛生のパラダイムチェンジを背景に、保健・医療・福祉システムの改革や健康福祉政策樹立への住民参加などの協働的な取り組みが発展しています。

我が国の健康福祉の現場でも、政策立案能力が強く要請されています。健康福祉活動の基本となる考え方や科学的な取り組みの裏付けとなる学問体系を構築する必要に迫られています。

このような情勢を背景に、地方主権の時代にむけて、住民と行政、教育、研究などの現場で働いている人たちが、共に研究を進め、地域での実践活動に生かすことのできる、新しい学会をつくる必要性を強く感じて参りました。

これからの健康福祉政策研究は、住民を主体として、保健・医療・福祉・教育・行政などの総合的な活動を原点とし、住民の健康に対する思いや願いを満たすものでなければならぬと考えます。

日本健康福祉政策学会「入会のご案内」パンフレットより抜粋

2 全国役員と支部役員の紹介

全国役員

理事長 塩飽邦憲

副理事長 岩永俊博

佐谷かい子

理事 田沢光正 立身正信、野山修、増田一世、野原正平、松田正己

西本美和、渡邊能行 宮原伸二、藤内修二

指名理事 反町吉秀、羽田 明、堀川俊一

監事 石川左門、田中良明

岡山支部役員

代表：宮原伸二 副代表：塚原貴子 山本茂樹 運営委員：山下幸恵、中野治

事務局：総合ケアシーザル

3 第10回大会（大会長 岩永俊博） 別資料参照
12月9日（土）、10（日）都道府県会館4階
メインテーマ 地域からの、地域に根付いた、地域のための政策づくり

4 第11回大会 岡山大会

1) 岡山大会の特色

- 1 保健・医療・福祉の強い結びつき（川上町、哲多町、御調町(合併がらみで)
- 2 福祉県岡山の強調（エクスカッションなど）
- 3 市民参加を明白にする（発表と役割・元気の出る会など）
- 4 政策実現した報告と動きの実態と実績（清音、勝山町など）
- 5 地域包括支援センターの実態とこれからの介護保険の方向性を考える
- 6 福祉医療系 NPO の役割を明確にする
- 7 市町村合併の保健・医療・福祉への影響

キーワード まちづくり、医療福祉、NPO・市民活動

岡山大会の趣旨

“心豊かで支えあう暮らし”を考えると、わたしたちは生命・生活の質の豊かさを考えます。そして、私たちに「思いや願い」が芽生えたとき、それらを「暮らしのかたち」にしていこうとします。このプロセスにおいて、様々な生活問題と課題を抱え一人では問題を解決し得ない状況が生まれます。

その解決においては、住民自らの主体的な問題解決への活動参画を基本に、行政や医療・保健、福祉関係者等が協働し“共に支えあう地域づくり”を行う必要があります。そして、この実現に向けて、参加者同士の課題を我がことと受け止め、お互いの知恵を出し合い既存の価値観や常識からのパラダイム展開を図り、新たな政策提言・立案を行える学会を目指します。

そんな出会い、語り合い、発表する場が、第11回日本健康福祉政策学会岡山大会です。

2) 実行委員名簿

実行委員

青木佳之
重平
小山
中村
中尾
中島
あいの里職員
福島裕美子
福岡英明 準備委員・大会顧問
矢庭さゆり
太田茂 準備委員
中村陽子 準備委員
中田直美
山本茂樹 準備委員 大会副会長
佐野裕二
県社協職員
難波光 準備委員
保健師（依頼中）
佐藤一男 準備委員 住民
佐藤恵美子 準備委員 住民
21 當房一男
22 塚原貴子 準備委員
23 堀部徹 準備委員
24 中野治
25 妻井令三
26 黒原和枝
27 塩飽邦憲
28 宮原伸二 大会長
29 山下幸恵 準備委員
30 福本忠裕
31 原 健作

（順不同・敬称略）

3) 大会役員名簿

大会長 宮原伸二

大会副会長 青木佳之

山本茂樹

大会顧問 福岡英明

企画運営 宮原伸二、青木佳之、山本茂樹、福岡英明、山下幸恵、難波光、中野治、
市民

事務局 NPO 法人総合ケアシーザル

4) 大会準備

主管・共催

主管 NPO 法人総合ケアシーザル

共催 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

後援 岡山県、岡山市（予定）、岡山県プライマリ研究会（調整中）

開催日程

2007年

12月7日（金） エクスカーション、理事会、市民公開講座

8日（土） 大会第1日目

9日（日） 大会第2日目

会場

岡山県総合福祉会館（予定）一応予約済み

テーマ 細部は後日決定

5) 大会内容

第11回日本健康福祉政策学会 準備表(流れ)

2006年6月10日	準備会開催・実行委員候補選出
9月 上旬	準備委員・実行委員のメーリングリストを作成
9月 上旬	日程・会場の確定
9月 8日	第1回実行委員会・骨子の決定・テーマ(案)、ホームページ開設、銀行通帳の作成
9月 中旬	学会内容検討委員会の開催
9月 下旬	後援団体など決定・エクスカーション・宿泊など担当業者の決定
10月、11月	第1回担当部会開催
12月	全国理事会へ報告・第10回日本健康福祉政策学会参加・発表 第11回大会の第1回案内(チラシ作成)・学会通信にも掲載
2007年2月	第2回実行委員会(第11回大会の内容決定・シンポジスト やパネラー、座長などの決定)
2月	学会員に第1回案内と演題募集
3月、4月	第2回担当部会開催(最終決定)
5月	第11回大会の第2回案内・学会通信にも掲載 県内外各種団体・関連団体に案内
5月	学会員に第2回案内と演題募集
8月	第3回案内
8月	プログラム作成開始(プログラム担当部会)
9月	演題募集締切り
10月	第3回実行委員会
11月	第3回担当部会
学会開始	
12月7日(金)	エクスカーション(研修・視察)・市民公開講座、理事会
12月8日(土)	第11回日本健康福祉政策学会第1日目・懇親会
12月9日(日)	2日目

全期間に渡りメール(メーリングリスト)に進行状況を示し、話し合いをしながら進める。

第 11 回日本健康福祉政策学会日程表

	12月8日(土)			12月9日(日)
9:00	日本健康福祉政策学会総会	ポスター 展示	9:00	ポスター発表
9:30	大会長講演			
10:15	“やればできる”まちづくり 1 岡山県津山市勝山町 or 哲西町 2 岡山県総社市清音 3 筑後市「人が近所の力を作る」		11:00	ミニ講演と討論 「かかりつけ医」のかかり方選び方 介護保険サービスのかかり方選び方 公募
12:00			12:00	
12:00	公開委員会		12:00	「音楽と心」など
1:00			1:00	
1:00	ポスター発表(座長)		1:00	井戸端会議 NPO(シーザル) 市民活動(元気の出る会) ~ 公募
3:00	分散会 地域包括支援センター 市町村合併 健康政策と介護予防 公募 公募		2:30	記念講演 (NPO・市民活動とかかわりの深い人)
5:00			4:00	終了
6:00	懇親会			
8:00				

12月7日 エクスカーション 午後1時～4時 2コース(福祉、神社)
 市民公開講座 午後6時半～8時半(シーザル健康福祉塾と共催)
 理事会 午後4時～6時